

一般社団法人日本災害看護学会 平成 29 年度定時代議員会 議事録

日時：平成 29 年 8 月 24 日（木）16：00～18：00

場所：鳥取看護大学 4 階 409 会議室

出席代議員（社員）：51 名（出席：27 名，委任状：24 名）

東ますみ，臼井千津，神崎初美，酒井明子，高橋和子，近田敬子，船橋香緒里，牧野典子，松清由美子，三澤寿美，三橋睦子，山崎加代子，足立久美子（組織），小原真理子（組織），山本あい子，南裕子，大柴福子（組織），石井美恵子，小原真理子，山崎達枝，山田覚，片田範子，吉田俊子，森下安子，西上あゆみ，大野かおり，尾山とし子，笈淳夫

出席役員（理事・監事）

山本あい子理事長，南裕子副理事長，大柴福子理事（組織），石井美恵子理事，小原真理子理事，山崎達枝理事，山田覚理事，片田範子推薦理事，吉田俊子推薦理事，森下安子推薦理事，西上あゆみ推薦理事，大野かおり推薦理事，尾山とし子監事，笈淳夫監事

（敬称略）

1. 開会

司会の南副理事長より，出席代議員 27 名，委任状 24 名であり，定款第 24 条第 1 項および第 4 項に基づき，代議員会が成立することが報告された。（代議員 53 名中，51 名出席）

2. 理事長挨拶

山本理事長より挨拶があった。

3. 年次大会長挨拶

第 19 回年次大会長の近田敬子氏より挨拶があった。

4. 組織委員会，総会，年次大会の運営および責任について

南副理事長より，平成 29 年度の組織委員会，総会，年次大会について現行の役員（第 6 期）が司ることが提案された。また，このあとの組織委員会，総会，年次大会については現行の役員により進められてきた事案であるため，現行の役員が退任後も引き続き司ることが提案され，承認された。

5. 議事録署名人選出

神戸女子大学 東ますみ氏，宮城大学 高橋和子氏が議事録署名人として選出され，承認された。

6. 報告

下記のとおり報告，質疑応答を行い，全会一致で承認された。

1) 登録会員の推移（大野理事）：代議員会資料 p1

- ・ 会員登録数が個人と組織合わせて 1,553 名であることが報告された。

2) 理事会報告（山本理事長）：代議員会資料 p2～6

- ・ 理事会の活動について山本理事長より報告された。

3) 代議員会報告（山本理事長）：代議員会資料 p6, 7

- ・ 平成 28 年 12 月に開催した臨時代議員会（補正予算案の承認）について報告された。

4) 組織委員会 の 予定 (大柴理事) : 代議員会資料 p7

- ・ 本代議員会終了後に第 19 回組織委員会を開催する。

【質疑応答】

① 質問 : 会員数が減少しているが, 増加に向けて方策はあるか。

回答 : 具体的な方策は理事会で検討する。個人会員だけでなく, 組織会員の増加も期待したい。そのためには, 看護系大学の災害看護担当教員が個人会員として入会し, 大学が組織会員となるように促す。組織会員の増加に向けたアイデアがあれば提案していただきたい。

7. 議事

1) 平成 28 年度事業報告の承認 : 代議員会資料 p8~11

下記のとおり各事業を報告し, 質疑なく, 全会一致で承認された。

(1) 学会誌編集・発行 (山田理事)

学会誌 3 誌の発行, 査読者の選任・委嘱, 英文抄録のネイティブチェック, リポジトリ等について検討した。

(2) 組織会員の活動推進 (大柴組織会員理事)

第 18 回年次大会で情報交換会を開催, 組織ブースを設置し, 組織会員の入会促進活動等を行った。

(3) 社会貢献・広報活動 (山崎理事)

ニューズレター (32 号・33 号) の発刊, ホームページの保守と管理, 第 18 回年次大会で「市民公開講座」を開催した。

(4) ネットワーク活動 (石井理事)

災害時初期調査・初動調査, 先遣隊活動との連携を継続し, 第 18 回年次大会でシンポジウムを開催した。また, 委員会細則に従って先遣隊の取り決め事項の見直しを行った。

(5) 教育活動 (小原理事)

第 18 回年次大会でワークショップを開催, さらに災害看護教育セミナー (2 回), 災害看護フォーラムを開催した。災害看護活動調整員 (案) 養成の検討を継続した。

(6) 国際交流の推進 (南副理事長)

学術交流を主とした情報発信のためにホームページの英語バージョンの充実, 本学会および日本における災害情報の発信, 海外の災害時支援の検討 (ネパール看護協会での災害看護導入研修の実施), 世界災害看護学会との連携活動と事務局としての支援活動等を行い, 第 18 回年次大会で交流集会を開催した。

(7) 募集活動 (西上理事)

平成 28 年熊本地震募金活動を平成 28 年 5 月 1 日に開始し, 平成 29 年 4 月 16 日に終了した (資料の訂正)。募金の呼びかけを継続して行った。

(8) 東日本大震災看護プロジェクト (吉田理事)

福島県相馬市および宮城県気仙沼市の仮設住宅での健康支援活動, 宮城県気仙沼市での仮設住宅住民への健康調査とそのまとめを行った。また, 第 18 回年次大会でシンポジウム

を開催した。

(9) 災害看護用語検討プロジェクト（片田理事）

災害看護関連用語（案）検討ウェブサイト開設にかかる準備と運用，災害看護関連用語（案）40語の検討および集約を行い，第18回年次大会で交流集会を開催した。

(10) 法人化プロジェクト（森下理事）

各委員会細則の決定，法人化手続きに関する残務処理を行った。

(11) 熊本地震看護プロジェクト（石井理事）

仮設団地の入居者の健康調査および益城町役場職員の健康相談を行った。

(12) 代議員・役員選挙（大野理事）

平成29年1月に代議員選挙，平成29年3月に役員選挙を実施した。

(13) 学術集会（南副理事長）

第18回年次大会の企画・開催，第19回年次大会の準備を行った。

(14) その他（大野理事）

看保連と日本看護系学会協議会活動への参加，日本学術会議事業・防災学術連携体への参加と情報発信を行った。

2) 平成28年度会計報告・監査報告の承認（西上理事）：代議員会資料 p12～21

代議員会資料に基づき，平成28年度決算報告を行った。

また，算監事より平成29年7月23日に当該年度における事業報告およびその附属明細書，計算関係書類（貸借対照表，正味財産増減計算書およびこれらの附属明細書，財産目録）について検討した結果，適正な執行が行われていることが報告された。

質疑なく，全会一致で承認された。

3) 平成29年度事業計画案の承認（山本理事長）：代議員会資料 p22～24

代議員会資料に基づき説明を行い，全会一致で承認された。

(1) 学会誌編集・発行

代議員選挙後の体制であり，査読者の選任・委嘱を行う。投稿論文の質の向上に関する検討を行う。

(2) 組織会員の活動推進

組織会員間の情報共有と相互啓発の推進を行う。

(3) 社会貢献・広報活動

ニュースレターの発刊，第19回年次大会で「市民公開講座」を開催する。

(4) ネットワーク活動

災害時の初期調査，初動調査，継続調査を実施する。

(5) 教育活動

災害看護教育ワークショップおよび教育セミナーの企画と開催，第19回年次大会でワークショップを開催する。さらに「災害看護活動調整員（案）」の研修制度を検討する。

(6) 国際交流の推進

災害看護に関する国際的な提言として世界防災フォーラムに参加する。また，ネパール

災害看護リーダー研修の後方支援を継続するとともに、第5回世界災害看護学会（2018年10月、ドイツ）開催への支援を行う。

(7) 募金活動

大規模災害発生時に必要に応じて募金活動を行う。

(8) 東日本大震災看護プロジェクト

第19回年次大会で6年間の活動報告を行い、プロジェクトを終了する。

(9) 災害看護用語検討プロジェクト

学会員参加型の用語検討ウェブサイト进行管理・運営する。

(10) 熊本地震看護プロジェクト

益城町での活動を継続する。

(11) 学術集会

第19回年次大会の開催、第20回年次大会の準備を行う。

(12) 20周年記念事業（追加）

記念事業および記念誌発行等を行う。

(13) その他

関連組織・団体との連携・活動を推進する。

4) 平成29年度予算案の承認（西上理事）：代議員会資料 p25

代議員会資料に基づき平成29年度予算案の説明を行った。

平成29年度事業報告と予算案について、以下の質疑応答を行い、全会一致で承認された。

【質疑応答】

① 質問：20周年記念事業の計画があるが、予算案には計上されていない。

回答：予備費を使用する予定である。

② 質問：支出の登録業務委託費は、業者との契約で金額が決まると思われるが、平成28年度決算額と、平成29年度予算額が異なるのはなぜか。

回答：会員数の増減により、委託料が変動するため。また、法人化により税理士による会計確認を導入したこと、資料類の保管費用により昨年度より増額している。

③ 質問：別添資料「収支予算書（細目）」の『予備費』には10,519,975円、『予算増減 a-b』には1,261,340円とあるが、代議員会資料 p25 にはそれぞれ10,509,975円、1,251,340円とあり金額が違う。

回答：代議員会資料が正しい。別添資料「収支予算書（細目）」の値は記載ミスであり、修正していただきたい。

5) 功労者表彰規程の改正の承認（森下理事）：代議員会資料 p26, 27

法人化により、定款を根拠とした内容に改正する旨説明された。質疑なく、全会一致で承認された。

6) 理事及び監事選任の件（役員選挙結果の承認・立垣選挙管理委員）：代議員会資料 p28

選挙管理委員からの説明に先立ち、理事全員が定款の規定により本代議員会終結と同時に任

期満了となり、監事全員から本代議員会終結と同時に辞任する旨の届がなされているため、その改選の必要がある旨及び役員の数について山本理事長より説明された。

引き続き、立垣選挙管理委員より、平成 29 年 3 月 1 日から 3 月 10 日まで電子投票による役員選挙を行った結果が報告された。

議長が議場に諮ったところ、下記のとおり全会一致で承認された。

なお、被選任者はその就任を承諾した。

記

理事：山本あい子、南裕子、足立久美子、小原真理子、酒井明子、山崎達枝、山田覚、
渡邊智恵、石井美恵子、本田（三浦）英恵、竹崎久美子、

監事：笈淳夫、片田範子

8) 第 21 回年次大会 大会長推薦の承認（山本理事長）：代議員会資料 p30

日本赤十字北海道看護大学の尾山とし子氏が推薦され、全会一致で承認された。

7. 第 20 回年次大会会長あいさつ

増野園恵氏（兵庫県立大学地域ケア開発研究所 所長）より挨拶があった。テーマは「災害に立ち向かう看護のリーダーシップを探究する」、会期は 2018 年 8 月 10 日（金）・11 日（土・祝）、神戸国際会議場（兵庫県）で行われる。

9. 閉会のあいさつ

南副理事長の挨拶により、平成 29 年度定時代議員会は閉会した。

一般社団法人日本災害看護学会 平成 29 年度第 1 回代議員会 議事録

平成 29 年 8 月 24 日

議 長 (印)

議事録署名人 (印)

議事録署名人 (印)

(印)

(印)

(印)

(議事録作成者：理事長 山本あい子)